

和風引き戸 ジュピーノ専用枠材

このたびはWOOD ONEの商品をご利用いただき、厚くお礼申し上げます。施工前にはこの説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願いいたします。なお、お気付きの点、ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく弊社までお問い合わせください。

安全上のご注意

**注意**

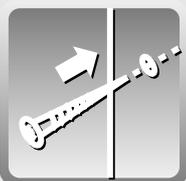
施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。

**屋内専用です。**

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、脱落の原因となり危険です。

**間柱・補強棧等の下地処理**

当製品は、壁面に直接固定するため、間柱・補強棧等の下地処理が不十分ですと転倒、脱落してケガの原因となりますので、所定の位置に躯体下地の準備をしてください。

**ビスは下穴を開けて取り付けてください。**

下穴を開けずにビスを取り付けると、枠材に割れが発生し、扉の脱落の原因となり危険です。

**ぶら下がり禁止！**

お子様がぶら下がって遊んだりすると、製品が破損したり、脱落してケガの原因となりますので絶対にしないでください。

**鴨居への物置き・吊り下げ禁止。**

鴨居に物を吊り下げたり、上に物を置いたりすると、製品が破損したり、脱落してケガの原因となりますので絶対にしないでください。

**開梱後は換気を行なってください。**

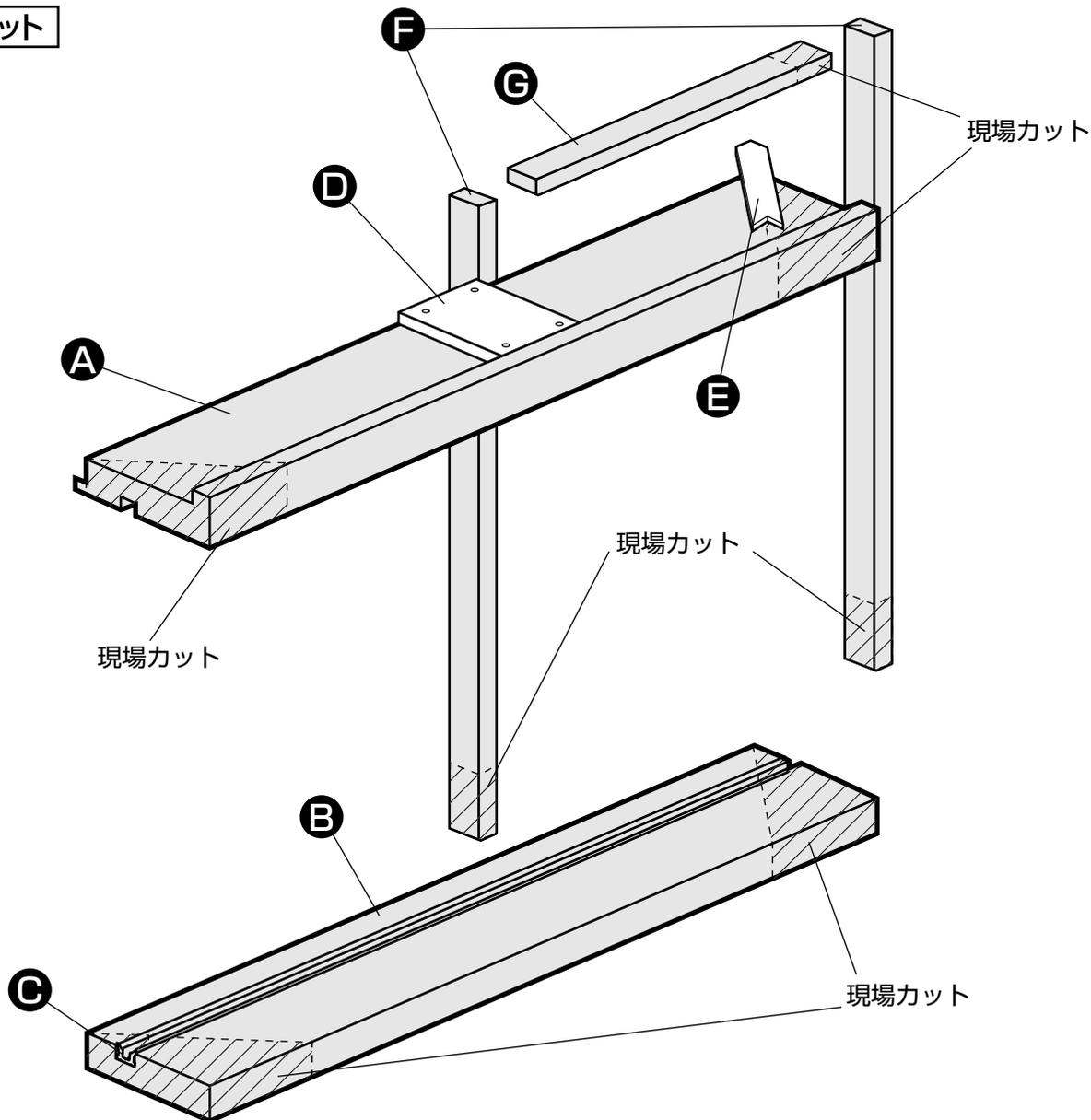
本製品はホルムアルデヒド・VOC（揮発性有機化合物）対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

〈開梱〉

梱包を開いたら本体および下表の付属品に不足および問題がないかどうかを確認してください。

鴨居敷居セット

見切材セット



梱包内訳表

本体

	部材名	1本溝		2本溝		無目		
		2,900	3,900	2,900	3,900	2,900	3,900	
Ⓐ	鴨居	1本						
Ⓑ	敷居	1本						
Ⓒ	Yレール	1本		2本		-		
	鴨居ストッパー	1個		2個		-		
Ⓓ	L金具セット	2セット	3セット	2セット	3セット	2セット	3セット	
Ⓔ	コーナー金具セット	1セット						
	施工説明書	1部						

見切材セット (別売品)

	部材名	数量	備考
Ⓕ	縦用見切材	2本	現場カット
Ⓖ	上用見切材	1本	現場カット

〈納まり図〉

横断面図

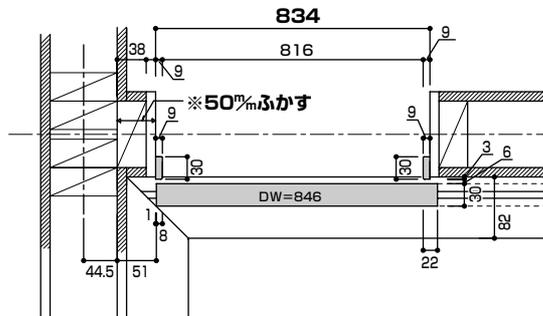
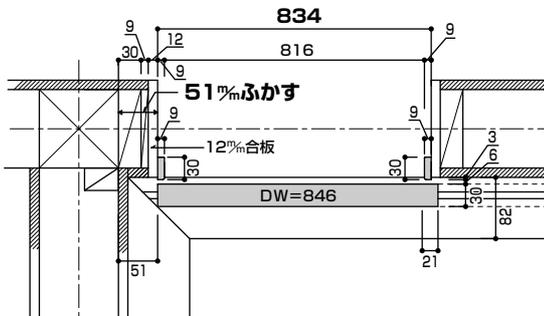
在来工法

2×4工法

片引き
入隅開口
6尺モジュール

(単位：mm)

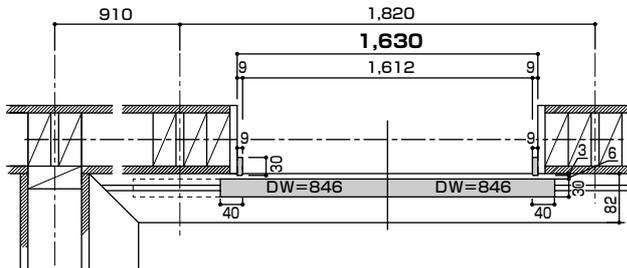
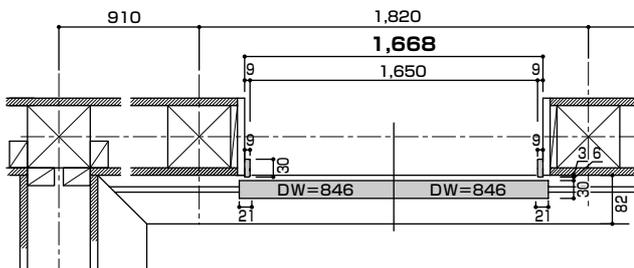
(単位：mm)



引き分け
6尺モジュール

(単位：mm)

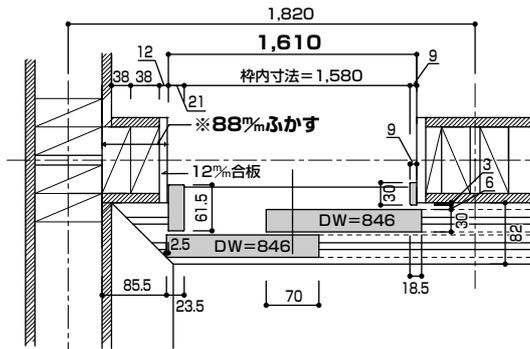
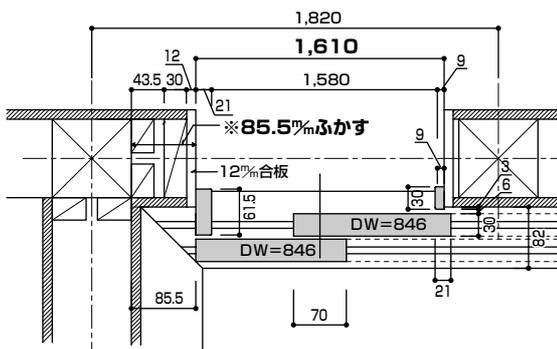
(単位：mm)



2本引き

(単位：mm)

(単位：mm)

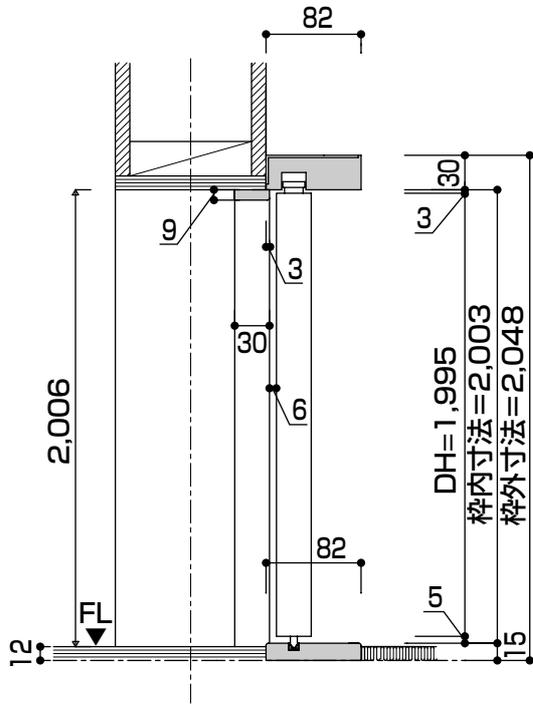


〈納まり図〉

縦断面図

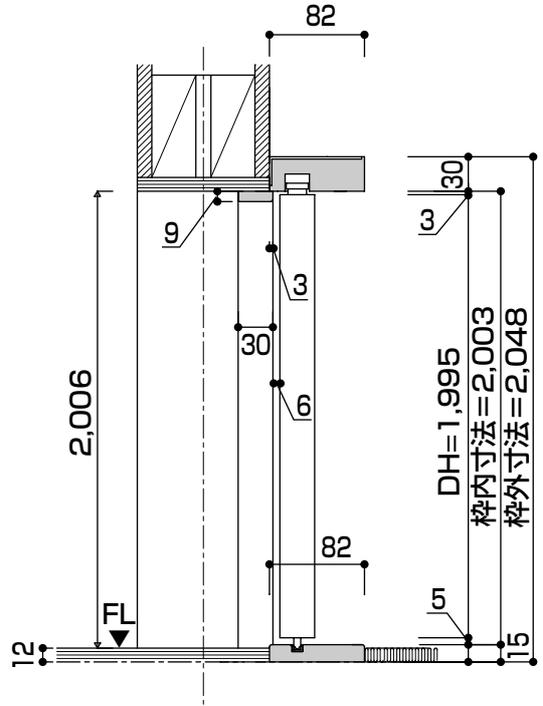
在来工法

(単位：mm)



2×4工法

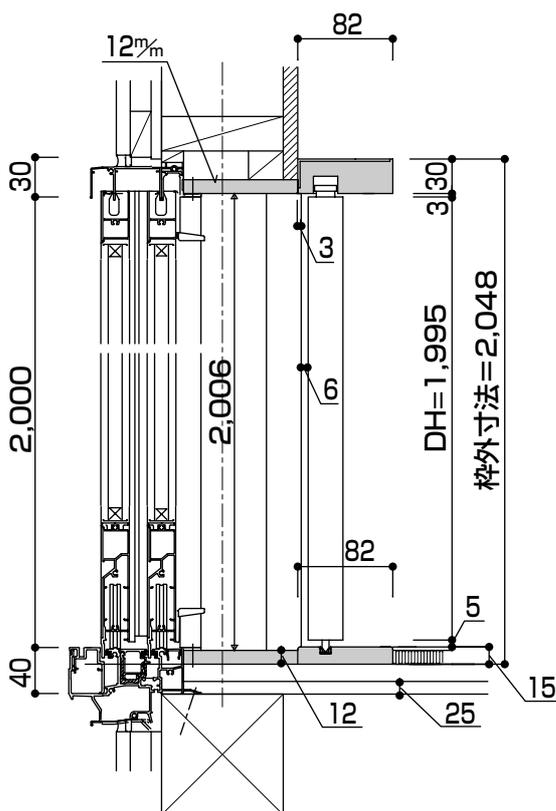
(単位：mm)



和洋・押入開口

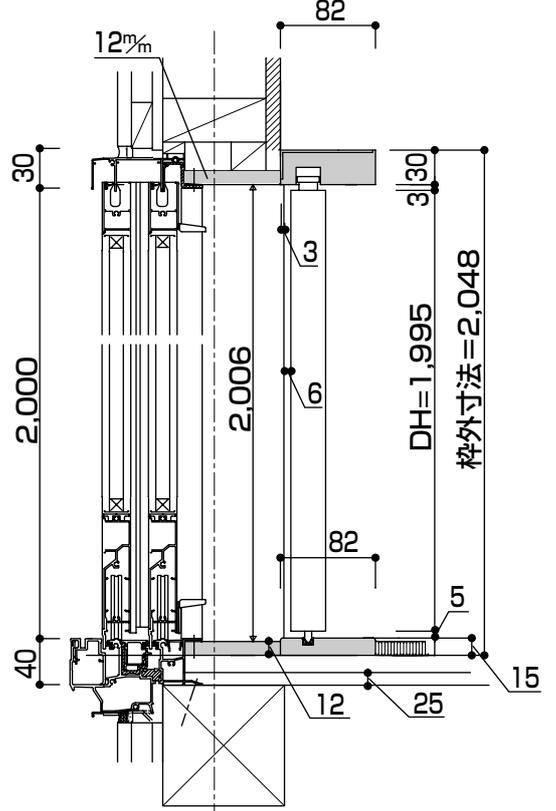
サッシ呼称高 20タイプ(テラス)

(単位：mm)



サッシ呼称高 20タイプ(テラス)

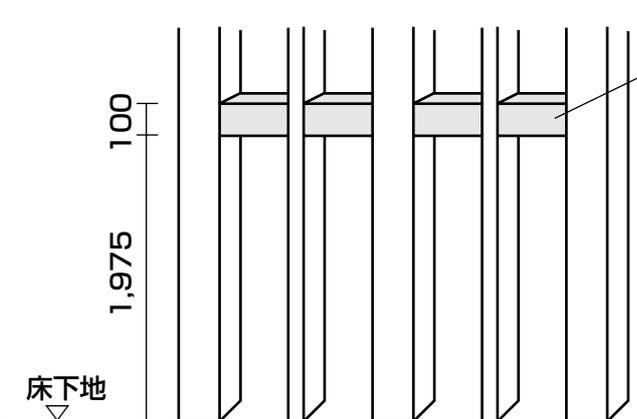
(単位：mm)



サッシ開口

1 下地材の補強ならびに開口寸法の確認

壁面下地材の補強



補強材

100mm巾程度の下地補強材を鴨居の取り付く壁面部分全てに入れてください。

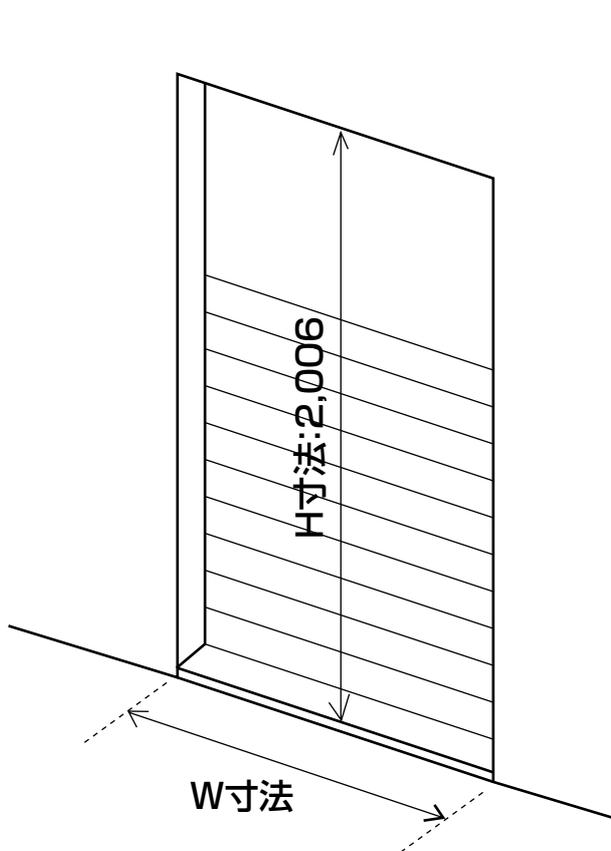
【お願い】

合板等を補強下地として使用する場合は、積層面が上下にくるよう、取り付けてください。

開口寸法の確認

和洋 押入れ開口の場合

壁を仕上げた状態での開口寸法をご確認ください。



補強材
(高さ30mm以上)

石膏ボード

合板

H寸法=2,006

床材は和室壁仕上げ面まで張り伸してください。

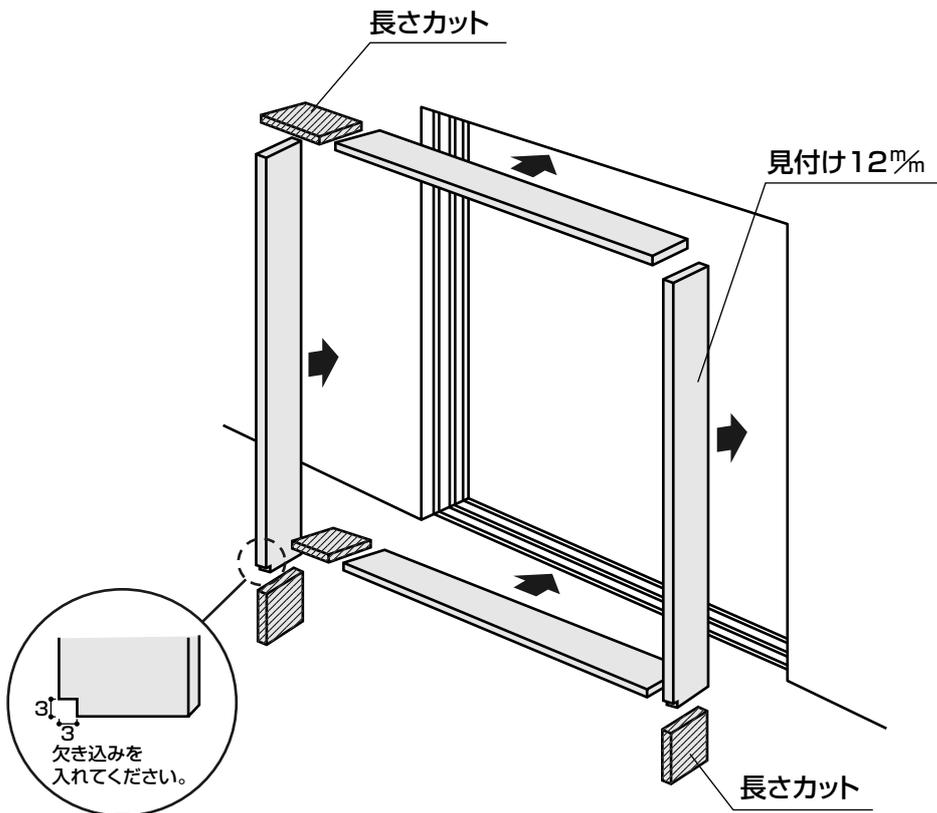
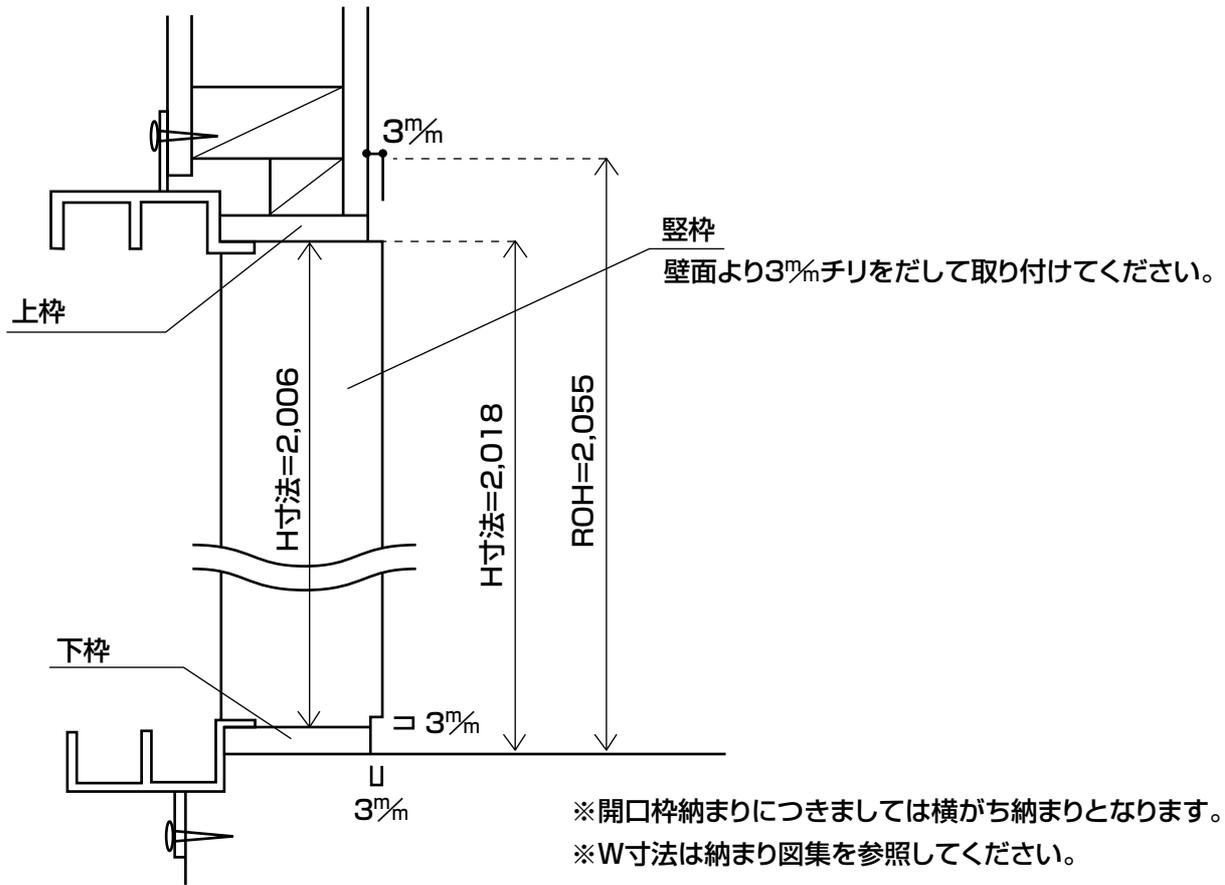
FL

開口仕上げ高さ寸法=2,006mmで仕上げてください。
W寸法=納まり図を参照してください。

※W寸法は納まり図集を参照してください。

サッシ開口の場合

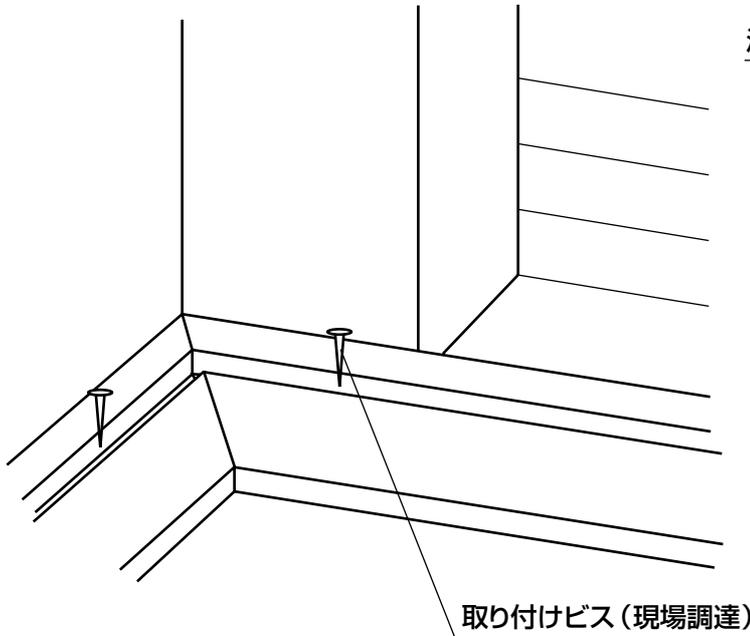
窓廻り開口枠を取り付けた状態での開口寸法をご確認ください。



2 敷居の取り付け

溝付敷居+溝付敷居の場合

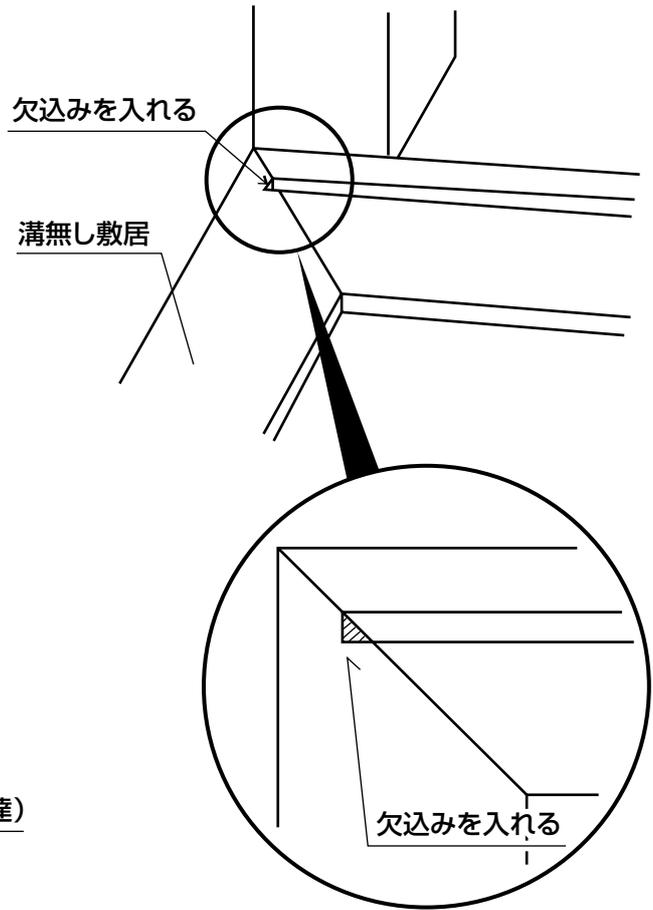
コーナー部分は、留め加工納まりとなります。



相手側が溝無し敷居の場合

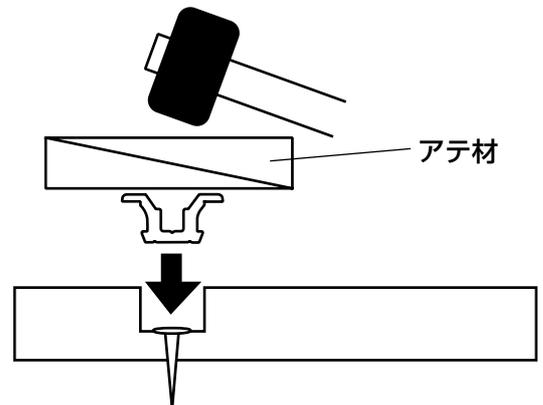
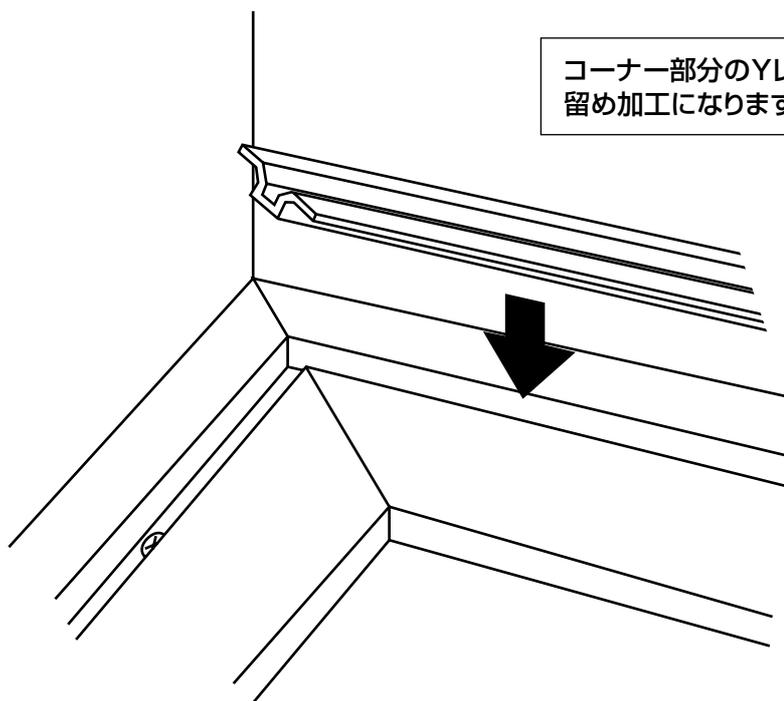
欠込みを入れる

溝無し敷居



3 Yレールの取り付け

コーナー部分のYレール端部の仕上がりは、留め加工になります。

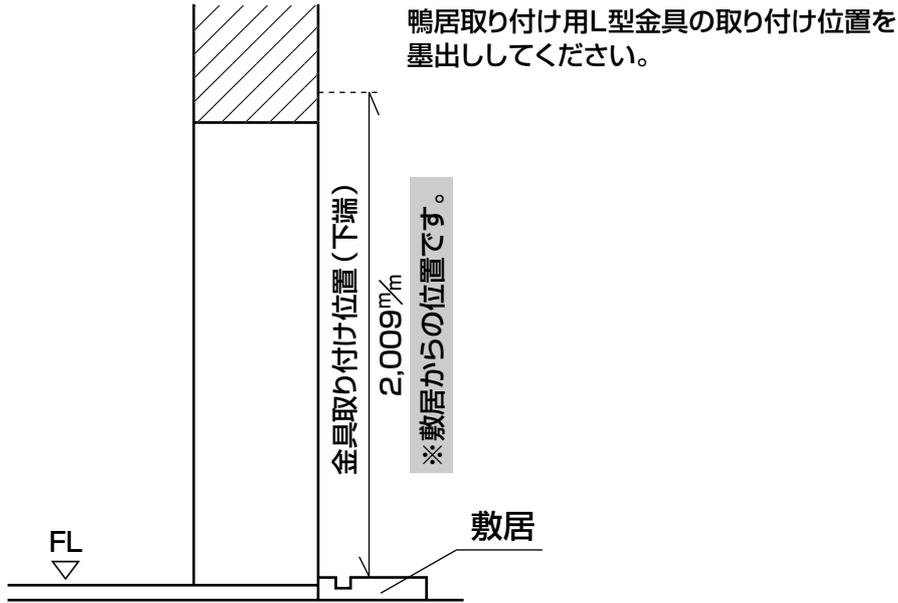


Yレールが敷居へ入りにくい場合は、あて木等をして打ち込んでください。

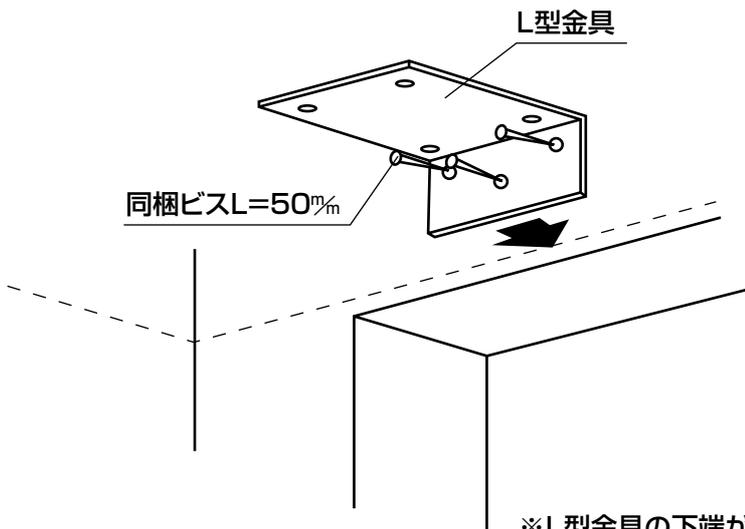
4

L型金具の取り付け

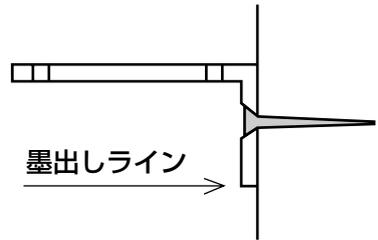
墨出し



金具固定



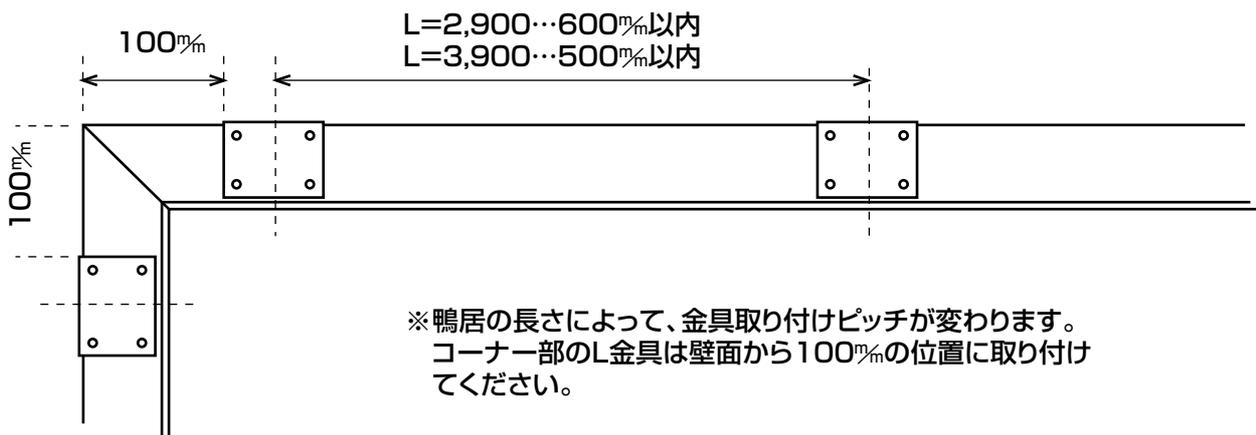
【お願い】



壁面へ金具を固定する際に、同梱ビス(L=50mm)の頭が下穴の中に納まるように取り付けてください。

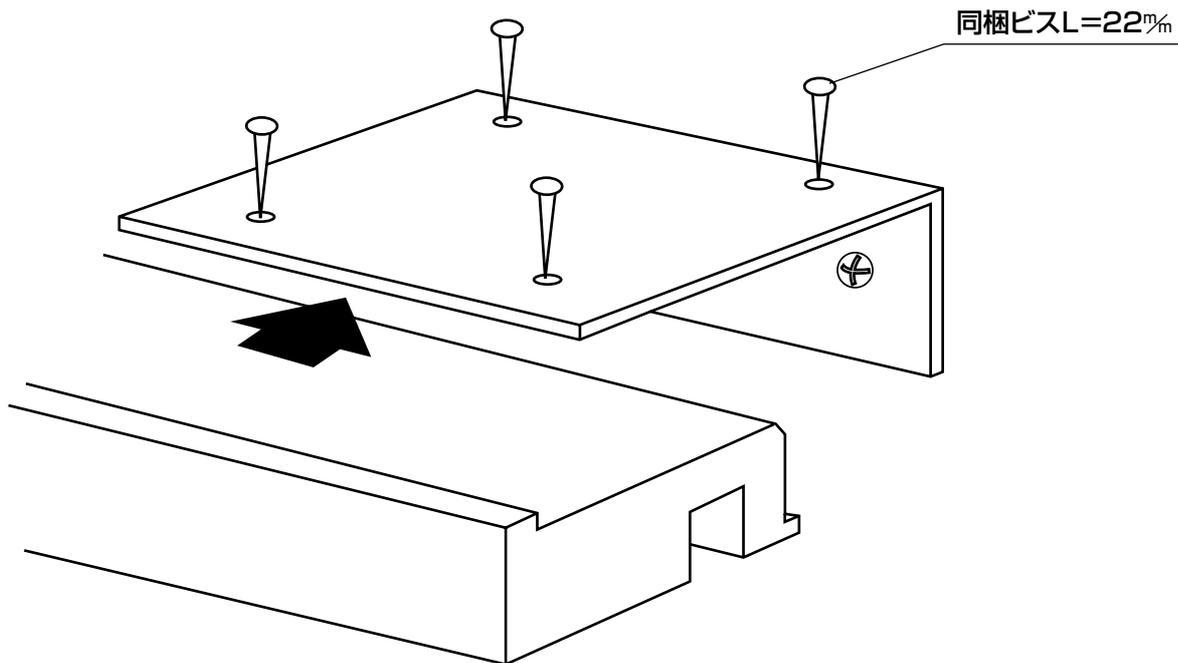
※L型金具の下端が、墨出したラインの位置となります。
固定は、同梱のビスで壁面へ取り付けます。
(同梱ビスL=50mm)

取り付けピッチ



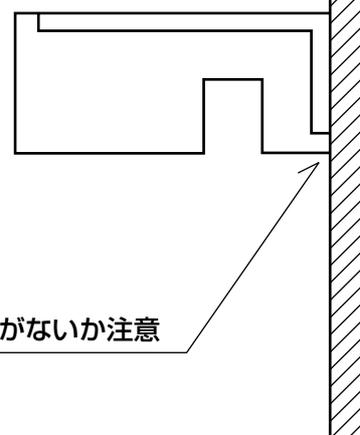
※鴨居の長さによって、金具取り付けピッチが変わります。
コーナー部のL金具は壁面から100mmの位置に取り付けてください。

5 鴨居の取り付け



固定は同梱ビス (L=22mm) でL型金具上面より鴨居を固定してください。

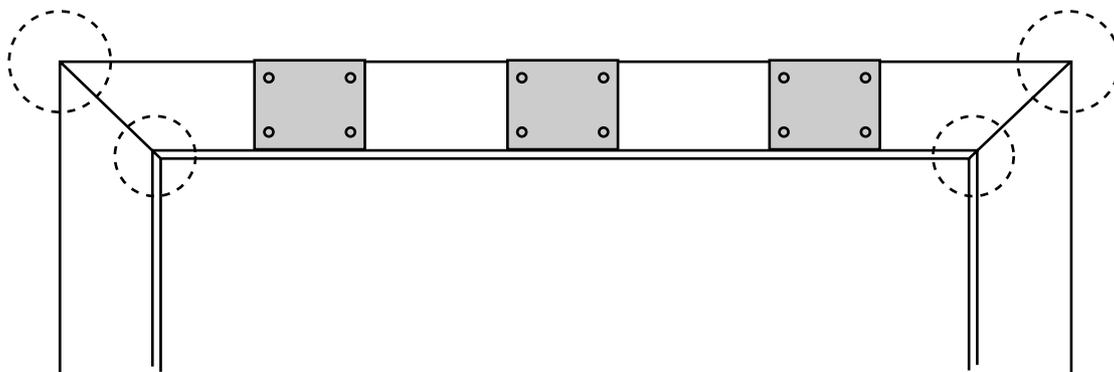
押し付け



取り付けは鴨居を壁へ押しつけ、壁面と鴨居の間に隙間がないか注意してください。

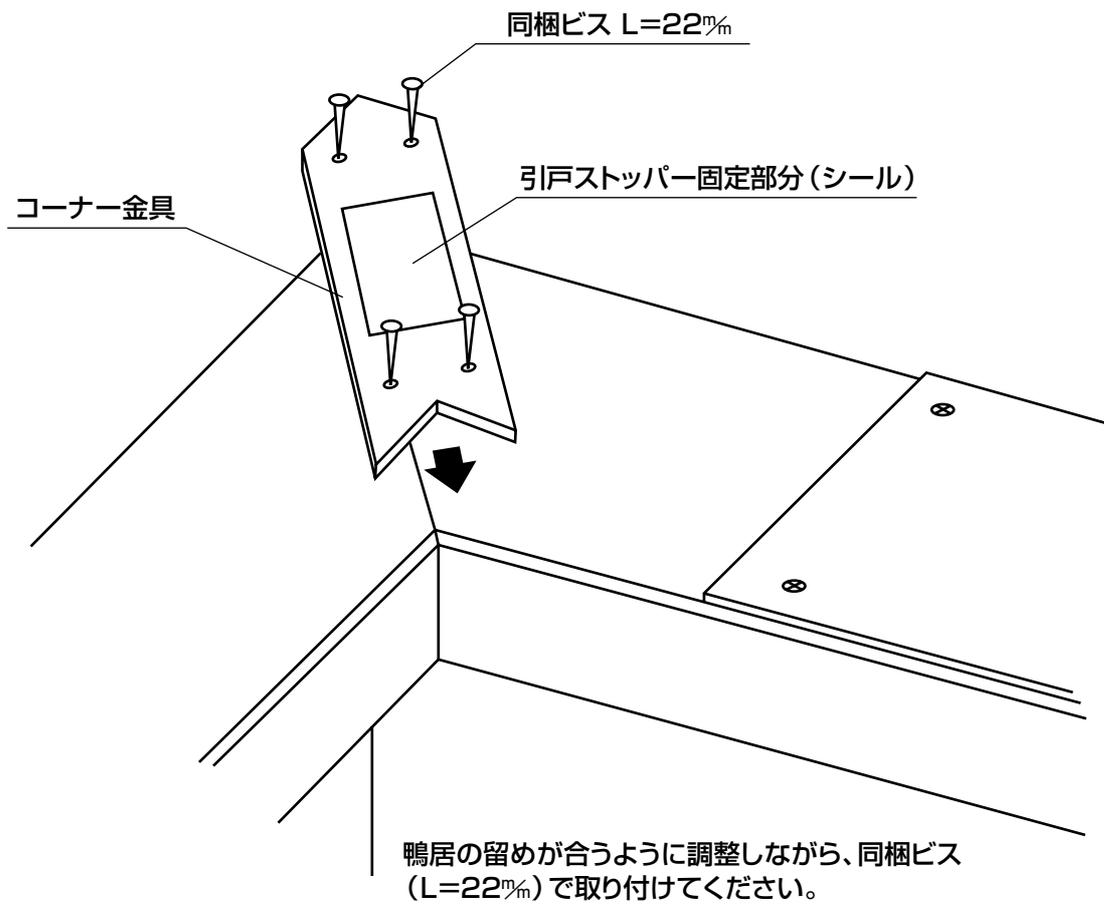
隙間がないか注意

【お願い】



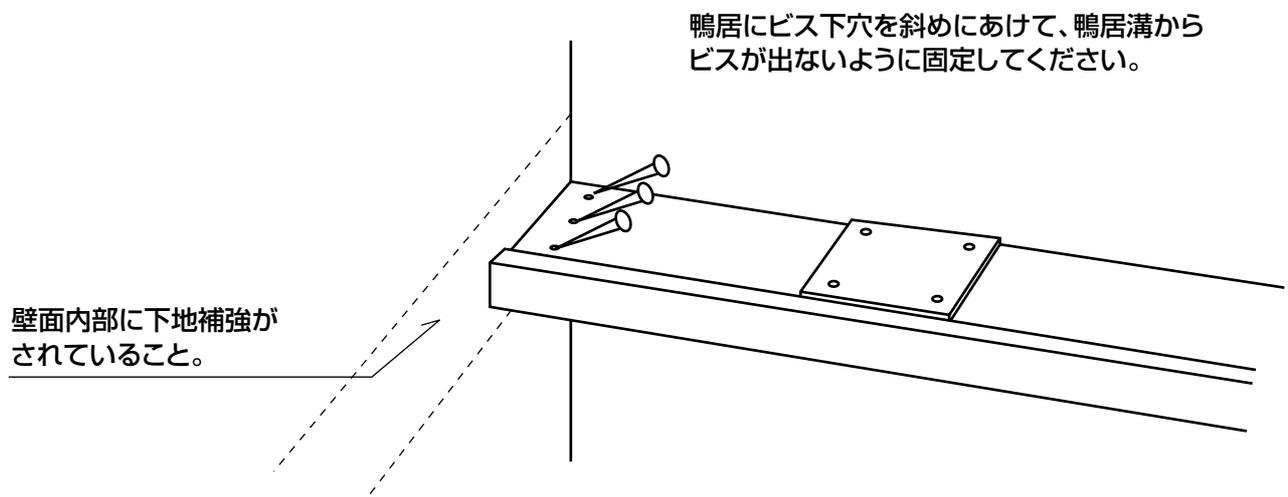
鴨居をL型金具に取り付ける際に鴨居の留めが合うように注意して取り付けてください。

コーナー金具の取り付け



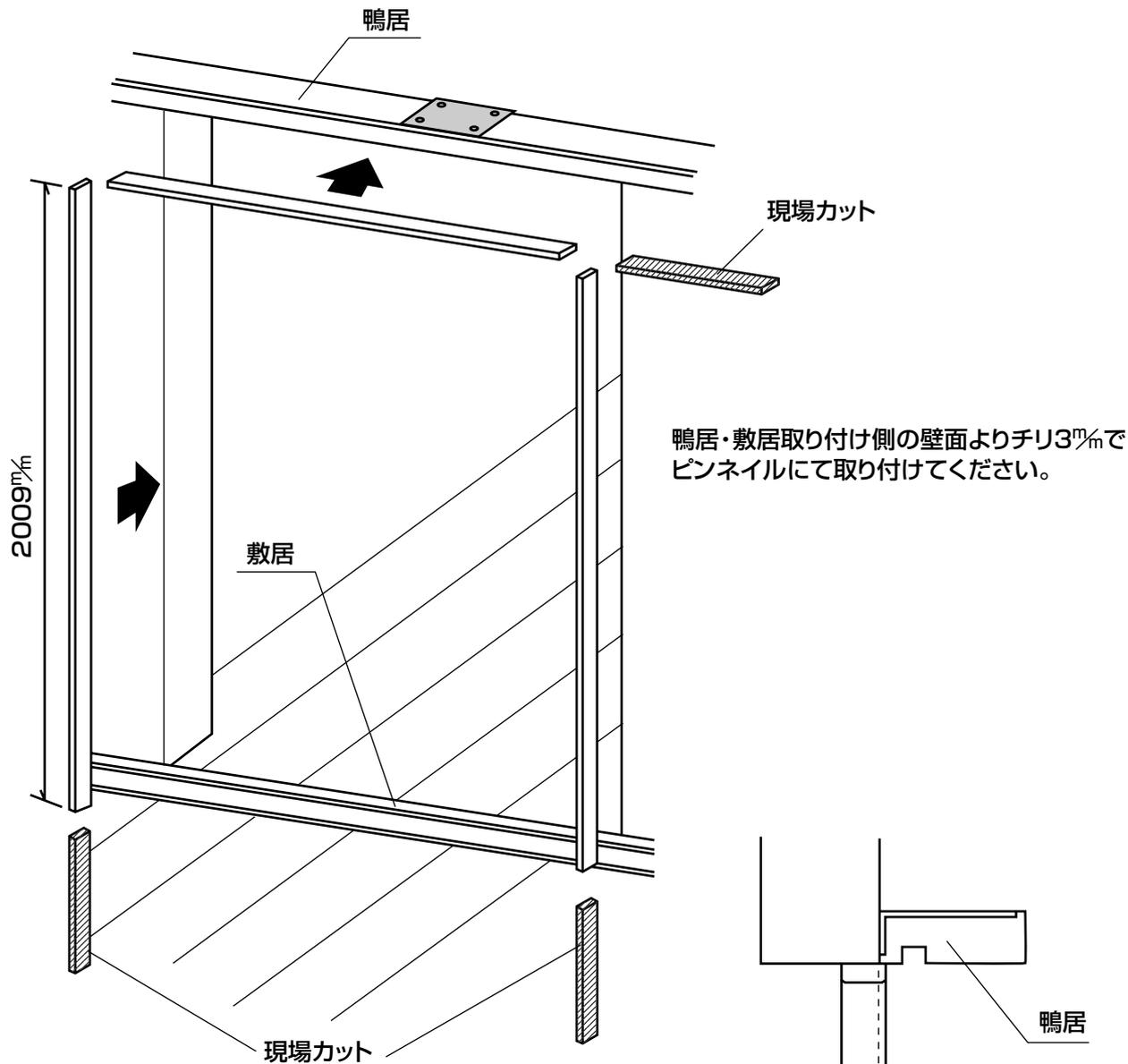
鴨居の端部を壁面へ直接固定する場合

壁面内部に施行手順 1 と同様の下地補強を必ず取り付けてください。



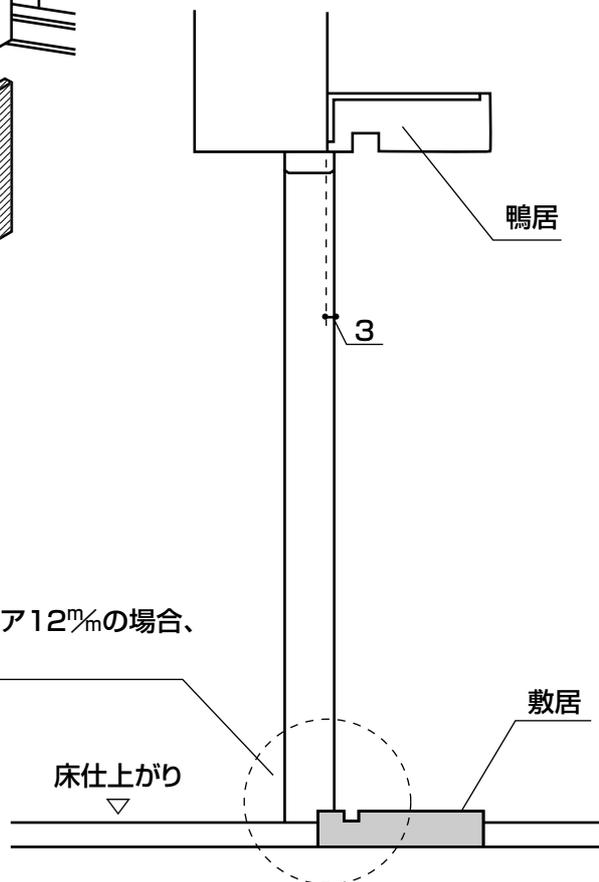
6 見切り材の取り付け

※見切り材は、堅勝ち納まりとなります。



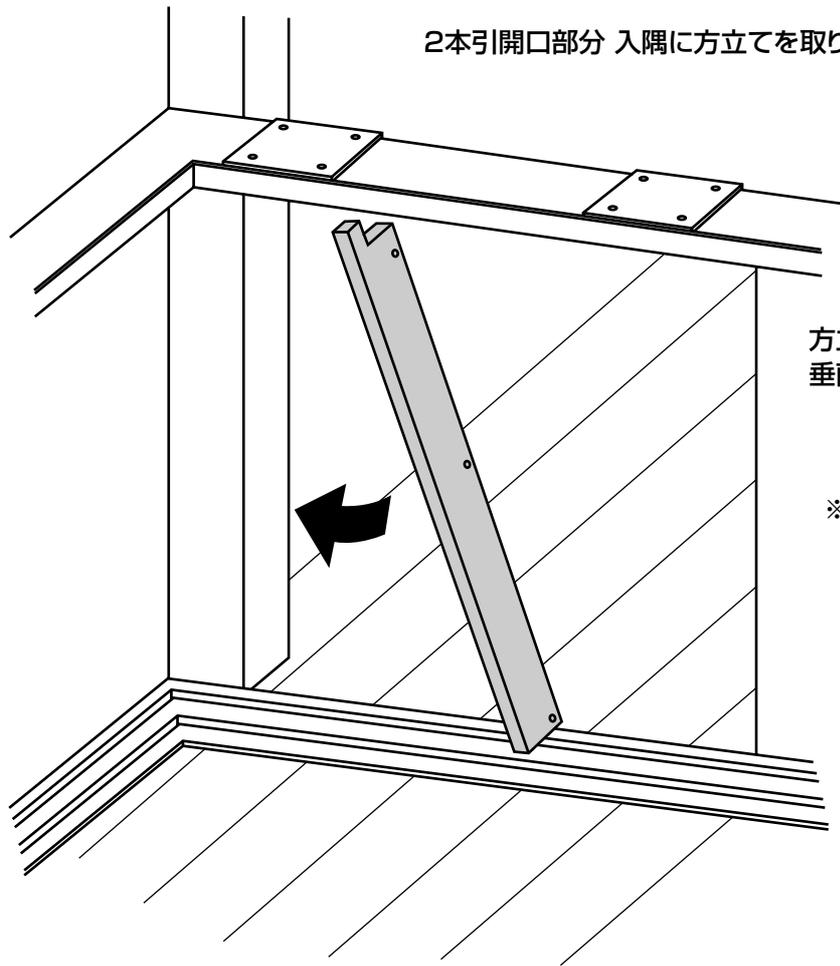
鴨居・敷居取り付け側の壁面よりチリ3mmで
ピンネイルにて取り付けてください。

見切りと敷居の取り合い部分はフロア12mmの場合、
3mm×3mm欠き込んでください。



7 方立ての取り付け (2本引き開口の場合)

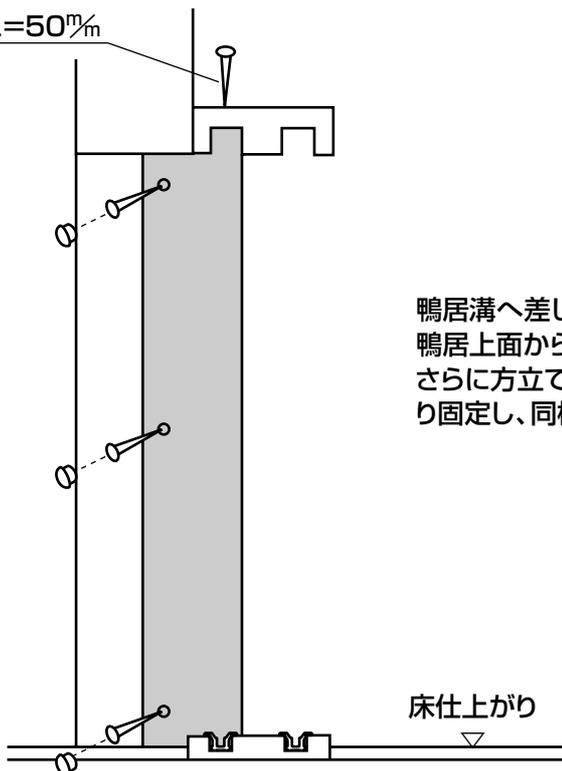
2本引開口部分 入隅に方立てを取り付けてください。



方立ての突起部分を鴨居溝へ差し込み、垂直に立て起こしてください。

※方立てには右用・左用があります。側面のビス下穴でご確認ください。

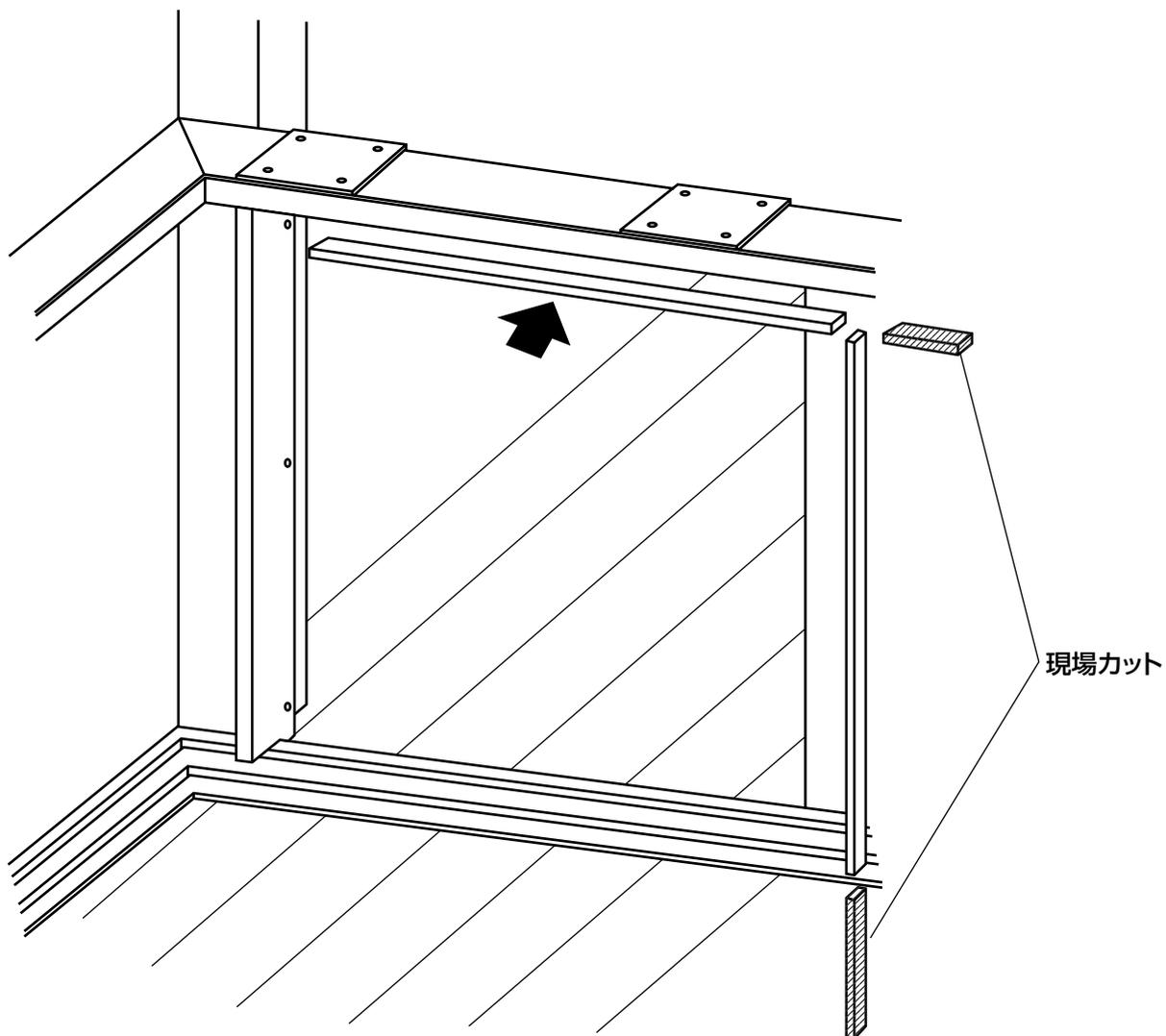
同梱ビス L=50mm



鴨居溝へ差し込んだ突起部分へ向けて、同梱ビス (L=50mm) を鴨居上面から固定します。
さらに方立て側面のビス下穴3ヶ所へ同梱ビス (L=50mm) により固定し、同梱のビスキャップを取り付けてください。

床仕上がり

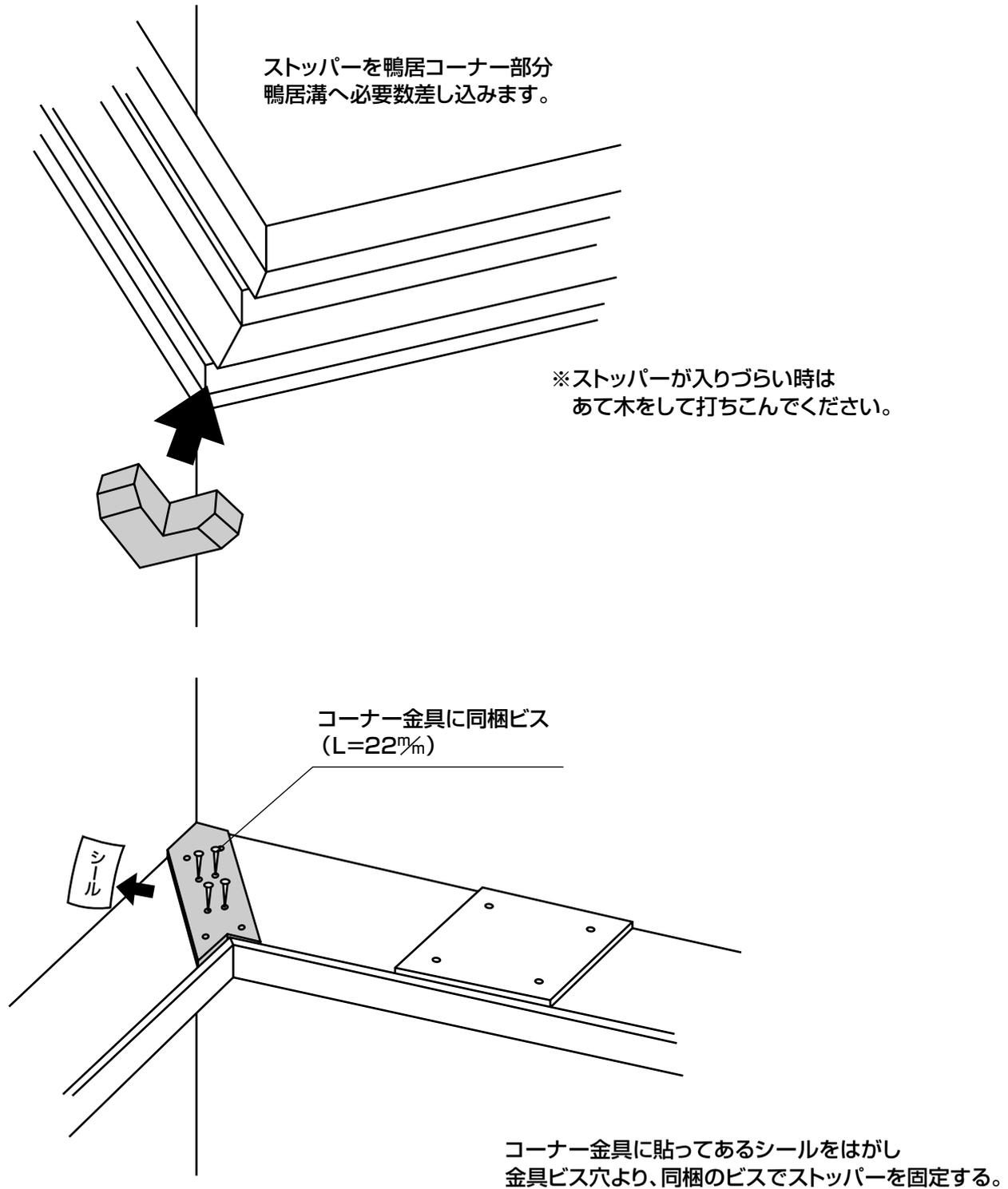
7 方立て取り付け後、見切材の取り付け（2本引き開口の場合）



取り付けに関しては、「**6**見切り材の取り付け」
をご参照ください。

※方立てに見切り材は取り付けません。

8 鴨居止めの取り付け



〈施工終了後〉



養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして、養生してください。



お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強く擦ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

WOOD ONE